

取組6 市民スポーツの充実

取組の評価 2.8 一部に改善を要する

< 取組6の基本方針 >

- 1 生涯スポーツの推進
2 競技スポーツの推進
3 市民や地域のスポーツ活動の支援
4 公共スポーツ施設の充実
5 特色あるスポーツ活動の推進

【取組の目的】 市民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、生涯スポーツの普及と市民や地域の主体的なスポーツ活動を推進します。

『取組』に係る社会の動向と本市の現状

1 社会の動向

- ◎ 国は『スポーツ立国戦略』において、「新たなスポーツ文化の確立」を目指し、人（する人、観る人、支える人）の重視、連携・協働の推進を基本的な考え方として、重点戦略・政策目標などを示しており、平成23年8月には、『スポーツ基本法』が制定されている。昭和36年に制定された『スポーツ振興法』の全面改正であり、スポーツを行う目的が多様化するとともに、地域におけるスポーツクラブの成長や、競技技術の向上、プロスポーツの発展など、スポーツを巡る状況は大きく変化している。
◎ 『生涯スポーツ』は、子どもから高齢者まで幅広い人たちが、それぞれの体力や年齢、技術、興味、目的などライフステージに応じて、スポーツに取り組むようになってきており、参加者層の広がりとともに健康の保持・増進など、スポーツ参加の目的も多様化してきている。
◎ 競技スポーツの競技力を向上させるため、優秀なスポーツ選手及び指導者の育成、ジュニア期からトップレベルに至る戦略的支援の強化などが求められている。

2 本市の現状（主な取組）

- ◎ 平成23年4月に『風見の丘』を開館し、日本一健康文化都市実現のため、市民の健康増進に寄与できる施設運営や、市民自らが健康づくりに取り組むための教室等を開催し、将来的に医療費低減につながるよう、事業展開している。また、施設の認知度の高まりや教室受講者の増加などにより利用者数は増加しており、平成26年度からの指定管理者制度導入を目指している。
◎ スポーツの振興や競技力の向上等を図るため、アマチュアスポーツの国際大会・全国大会に出場する個人又は団体に激励金を助成するスポーツ選手激励事業や、スポーツ指導者の資格取得費用に対して助成する指導者養成事業を実施している。競技力の向上と助成制度の周知が図られてきており、全国スポーツ大会の出場者数は、年々増加している。
◎ ジュニアの『競技エアロビック』の全国大会を開催することで、本市を全国発信するとともに、本市の活性化を図っている。エアロビックを身近で手軽にできるスポーツとして普及することに加え、高齢者でも体力のない方でもできる「スローエアロビック」を推進することにより、市民の健康増進につなげ、日本一健康文化都市のまちづくりを目指している。
◎ 公民館単位でのウォーキングイベントや東海道どまん中ふくろいツデーウオークを開催し、市民の健康づくりや日常的なウォーキングの運動習慣の定着を図っている。

『取組指標』の分析と評価結果

1 取組指標の評価 【※ 実績値は、各年度末における最新数値】 評価結果の平均値(A) 2.5

<評価基準> 4:達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 ≥ 0% 3:達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 < 0% 2:達成率 < 100%・前年比伸び率 ≥ 0% 1:達成率 < 100%・前年比伸び率 < 0%

Table with 9 columns: 番号, 指標名, 項目, 現状値(計画), H22, H23, H24, H25, H26, H27. Rows include indicators for sports participation, facility usage, and walking events.

【指標に影響を与えた主な要因】

- ◎ 市民意識調査結果のうち、「定期的にスポーツを行う人の割合」は伸びておらず、20~30歳代（特に女性）で実行できていない割合が高い。【H19:45.9%、H20:46.0%、H21:42.7%】
◎ 運動施設の利用者数は、ほとんどの施設で利用者が増加しているとともに、風見の丘の施設の認知度の高まりなどにより、利用者数が増加した。
◎ ウォーキングキャラバンの参加者数が大きく減少。要因は、天候に左右されることと、ポイントカード廃止による他地区への参加減少だと考えられる。

2 指標で表すことが困難な成果

- ◎ ニュースポーツ等の普及は、日常的にスポーツに取り組んでもらうことを目的としており、市民の健康増進、地域交流やコミュニティの推進につながっている。
◎ 東海道どまん中ふくろいツデーウオーク開催事業は、ウォーキングを通じての健康増進はもとより、県内外の来場者への市の情報発信及び観光振興にも寄与している。
◎ 静岡国際陸上、エアロビック選手権など、国内外のトップレベルのスポーツ大会における、優れた競技スポーツを見る機会を提供するとともに、トップアスリートを講師に招き、特に子どもたちのスポーツへの関心を高めることや競技力向上を目的として「スポーツクリニック」を開催している。

『主要事業』に係る事業評価表の評価結果

1 主要事業の評価

Table with 5 columns: 番号, 主要事業名, H24事業費(千円), 有効性, 効率性, 廃止の影響. Lists various sports-related activities and their evaluation scores.

『 取 組 』 の 有 効 性 ・ 必 要 性 ・ 緊 急 性 の 評 価 結 果

1 取組の有効性等の評価 評価結果の平均値 (C) 2.7

番号	評価項目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	コメント欄
1	有効性 4. 想定どおりの成果 3. 概ね想定どおりの成果 2. 一定の成果 1. 想定した成果なし	4	4	3				◎ 『親子スポーツ教室』をはじめ、『ファミリーバドミントン』や『親子グラウンドゴルフ大会』等の開催、さらにはスポーツ推進委員による各地域や学校等へのスポーツの実技指導等、本市のスポーツ振興に非常に大きな役割を果たしており、各種スポーツ教室や大会の開催、市民の健康増進に大きく貢献していることから有効である。 ◎ 運動施設の利用者数は増加しており、市民スポーツの推進が図られており、有効である。
2	必要性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	4	3	3				◎ 公共運動施設（学校運動施設やコミュニティ施設含む）は、地域住民にとって身近なスポーツの場として定着しており、市民の体力づくり・健康増進や、コミュニティの醸成などが図られていることから、利用者に安心・安全な施設利用してもらうため、施設の適正な維持管理を継続して実施する必要がある。 ◎ 各種スポーツ教室をはじめ、クラウンメロンマラソン大会や市駅伝大会の開催は、市のスポーツ振興とともに、市民の健康増進や地域コミュニティの推進にも寄与するなど、その必要性が高まっている。
3	緊急性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	3	2	2				◎ 公共スポーツ施設の半数以上が完成後20年以上経過していることから、施設点検を重点的に行い安全管理に努めるとともに、施設の長寿命化を図るため安全を最優先として計画的な修繕を行っていく必要がある。 ◎ 多様化する市民ニーズに対応した施設整備と、スポーツを通じた交流の活性化を図るため、総合体育館の整備構想を策定するとともに、具体的な整備時期等についても検討が必要であり、緊急性は一定程度高まっている。

『 取 組 』 の 総 合 評 価 と 今 後 の 展 開 方 向

1 総合評価 <評価基準> 4～3.6:順調 3.5～3:概ね順調 2.9～2:一部に改善を要する 1.9～1:全体的に改善を要する

取組の評価			コメント欄
2.8	一部に改善を要する		◎ 各種スポーツ教室をはじめ、クラウンメロンマラソン大会や市駅伝大会の開催は市のスポーツ振興とともに、市民の健康増進や地域コミュニティの推進につながっている。子ども達にわくわくするスポーツ体験をさせるため、トップアスリートによる「スポーツクリニック」の充実や幼児から高齢者まで誰もがスポーツに親しむことができる「ファミリースポーツフェスティバル」を開催するなど、幼児期からスポーツに親しむ環境づくりや、子どもの体力向上プログラムの推進を目指していく。 ◎ アマチュアスポーツの国際・全国大会に出場する個人又は団体に激励金を助成する『スポーツ選手激励事業』や、スポーツ指導者の資格取得費用に対して助成する『指導者養成事業』により、スポーツの振興や競技力の向上等が図られた。 ◎ ニュースポーツ等の普及により、気軽にスポーツに取り組んでもらうことで、スポーツの推進はもとより、市民の健康増進、地域交流やコミュニティの推進につながった。 ◎ 公共スポーツ施設の管理運営について、指定管理者制度を導入することにより、サービス向上・行政コストの縮減が図られるとともに、利用者数等が増加しており、スポーツの振興・普及が図られた。
各評価結果の平均値			
取組指標の評価結果 (A)	主要事業の評価結果 (B)	有効性等の評価結果 (C)	
2.5	3.2	2.7	

2 取組の基本方針別 今後の展開方向 <展開方向> 拡充(順調) 拡充(改善必要) 継続推進 縮小

番号	取組の基本方針	H22	H23	H24	H25	H26	H27	今後の展開方向
1	生涯スポーツの推進	継続推進	継続推進	継続推進				各種スポーツ教室をはじめ、クラウンメロンマラソン大会や市駅伝大会の開催は、スポーツ振興とともに、市民の健康増進や地域コミュニティの推進につながっていることから、今後とも、市民ニーズを把握しながら、事業展開を図っていく。 また、誰もが気軽に取り組むことができるニュースポーツや健康・体力づくりに役立つウォーキングなどを推進し、『定期的にスポーツを行う人の割合』の取組指標の達成を目指していく。
2	競技スポーツの推進	継続推進	継続推進	継続推進				スポーツ振興や競技力向上などを図るため、スポーツ協会や各種競技団体と連携して、スポーツクリニックを開催したり、ランニングキッズやジュニアエアロビック選手育成を支援したりすることで、トップアスリートの育成・スポーツ指導者への支援等を推進していく。また、トップアスリートによる講習会の開催や優秀なスポーツ選手等を顕彰し、意欲の向上を図っていく。
3	市民や地域のスポーツ活動の支援	継続推進	継続推進	継続推進				市民にニュースポーツ等が普及し、日常において気軽にスポーツに取り組んでもらうことで、スポーツの推進をはじめ、市民の健康増進、地域交流やコミュニティのさらなる推進を図っていく。
4	公共スポーツ施設の充実	拡充	継続推進	拡充				市民の生涯にわたるスポーツ活動や健康づくり活動を推進するため、多様化する市民のニーズに対応した利用しやすい施設整備を進めるとともに、『総合体育館』整備の具体化や新野球場整備について検討を進めていく。 また、利用者の安心・安全を第一に、指定管理者等と連携して、サービスの向上と効率的な管理運営を行っていく。
5	特色あるスポーツ活動の推進	継続推進	継続推進	継続推進				広く市民にエアロビックを普及するため、『袋井エアロビック協議会』の協力を得ながら、新たに取り入れた「スローエアロビック」（袋井発信のオリジナルエアロビック）をPRし、健康づくりの促進につなげるよう取り組んでいく。 また、東海道どまんちくろいツーデーウォークやウォーキングキャラバンなどのウォーキングイベントを継続的に開催するとともに、ノルディックウォークなど新しいウォーキングの普及も図っていく。

【その他留意事項】

- 市民スポーツの充実については、健康づくりの推進等と併せて、組織の横断的な連携を図りながら、推進していくことも必要である。
- 生涯スポーツ、競技スポーツの推進にあたっては、熱中症対策も必要である。